



合庭さん（中央）と、研修先である株式会社 Citrus の東山さん（左）・大前さん（右）

# 有田川町地域おこし協力隊

## 近況報告

### 「着任から1年がたちました」

【 閩産業課（金屋庁舎）】

令和2年（2020年）5月1日。  
福岡県から移住し、3年後に有田

川町でみかん農家として独立就農を  
目指すために地域おこし協力隊とし  
て着任された合庭嘉紘さん。

2年目を迎えるにあたり、「自分の  
活動を知ってもらって、広くつなが  
れたら」と近況を話してくれました。

——有田川町に移住して1年がたち  
ました。まずは率直な感想をお願  
いします。

合庭嘉紘さん（以下、合庭）…みか  
んの収穫は経験がありました。が、  
年間通じての栽培・管理は右も左  
も分からない状態からのスタート  
で…。1年間研修を受けて、「こ  
んな感じか」と分かった気がし  
ます。研修先の仲間も地域の人も  
仲良くしてくれるので、リラック  
スした日々を過ごしています。

——移住前にイメージしていた生活  
と今の生活は違いますか？

合庭…田舎暮らしになり、衣食住が  
変わりました。最初は家も壊れて  
いて、修理していたらスキルアッ  
プして（笑）。草刈りだの家のこと  
だの、やることが多くて「田舎っ  
て忙しい！」と思いました。けれど、  
きれいな川で泳いだり、タケノコ  
も梅もタダで採れたり、楽しいこ  
との方が多いです。自分で育てた  
野菜も初めて食べました。

——仕事面ではどうですか？

合庭…着任してすぐの昨年は思わな  
かったんですが、1年間管理をし  
た今年は、みかんの花が咲いて実  
がついたときは「ついたな」となっ  
てくれたな」と感じました。み  
かんにも以前より愛着が湧いてき  
ました。これからはどうやって収  
穫量を上げるか、おいしいみかん